

◇しが介護の職場合同入職式が開催されました！

栗東芸術文化会館さくら（中ホール） ～平成28年5月13日（金）～

5月13日、栗東芸術文化会館さくらにおいて、介護の職場の人材確保・育成・定着を推進するため、滋賀県はじめ県内の福祉・介護関係団体（10団体）が企画し、県内各地から新たに入職された皆さんに参集いただき「しが介護の職場合同入職式」が盛会に開催されました。

三日月知事は、公務のため来場できませんでしたが、「介護の職場に入職された皆さんの門出を祝い、安心して仕事に従事していただけるよう、滋賀の福祉を担い手として、初心を大切に頑張ってください」と、熱いメッセージ（ビデオメッセージ）を頂きました。また、医療福祉推進課岡野課長から、知事のメッセージを入職者代表者に手渡されました。

式典に続いて、講演会では、現場で活躍中の中浜崇之さん（介護福祉士、ケアマネジャー）からは、「介護の現場で働く中で、自分を輝かせること」というテーマで、現場に求められる「企画力・コミュニケーション力・問題解決能力・観察力・共同する力」についてのお話は、プロとは何かを伝えるメッセージになりました。続いて、落語家：林家源平師匠（ヘルパー2級 有資格）からは、巧みな話術で表現されたデイサービス介護風景は、思わず噴出し笑いも飛び出し、緊張していた雰囲気も和んだようです。

後半は、グループに別れての交流会です。コーディネーター役として先輩職員も入り、軽食などをつまみながら、仕事の心配事や悩み事などいろいろな話で盛り上がりました。入職者からは、「いろんな施設の方とお話ができて良かった。」「同じ悩みを持っている人と話せて、ちょっと安心した。」など、ご意見を頂きました。

初めて介護の仕事に携われた方は、不安もいっぱいです。このように、県内に新たに入職された方々が一堂に会して、お互いの想いを語りあえる場、人との出会いの場、滋賀県老人福祉施設協議会は、この出会いを大切にしていきます。

人材確保対策委員会委員長 堤 英幸（特養リパプール施設長）

